

各委員会での主な審査概要

総務企画委員会

質 28年度の特別交付税、増加の要因は。

答 特別交付税は3億8457万9000円で、前年度に比べて約7300万円、約5・6%増加しており、28年3月に策定した定住自立圏共生ビジョンにより、中心市分が新たに交付されたことが、その主な要因と考えている。

質 スポーツ振興くじ助成金480万円の概要は。

答 同助成金は、スポーツ振興くじの収益をもとに、地方公共団体等が行うスポーツ振興事業に交付される。今回は能代市総合体育館にある移動式バスケットゴールの更新を申請したところ、4月に内示があったものである。

質 本因坊戦誘致事業の進捗状況は。

答 今年度は本市で女流本因坊戦の開催が内定している。現在、挑戦者を決定するための対局が行われている段階であり、挑戦者が決定する8月ごろに日程等が決まることになっている。

質 本因坊戦誘致事業費350万円の内訳は。

答 会場使用料、対局者や関係者の交通費、宿泊等にかかる費用が、その主なものである。



質 行政不服審査会事務負担金について、具体的な案件はあったのか。

答 市税等減免不承認に関するものと市民税の決定に対しての審査請求があり、県の審査会に審査を依頼する必要があることから予算を計上した。

(小野 立)

文教民生委員会

質 子供の未来応援計画策定事業費の概要について。

答 28年3月に秋田県子ども貧困対策推進計画が策定され、地域の実情に応じた貧困対策を進める上で、教育や生活の支援など関連分野を体系的に取り組むための計画が必要と判断し、子育て世帯の実態調査を行う。計画はアンケート調査などを行い今年度中に策定したい。

質 保育料の軽減措置拡大のための能代市保育所条例の改正。国の保育料無償化に向けた段階的な措置なのか。

答 国は幼児教育の無償化に向けた取り組みを段階的に進めてきており、今回もその一環と捉えている。

質 能代市二ツ井町歴史資料館条例の廃止について、今後歴史資料館のあり方をどのように考えているか。

答 二ツ井町歴史資料館は新たな道の駅ふたついに設置される歴史民俗資料コーナーにより機能を継続していきたい。文化財や歴史資料の保存・展示施設については総合計画で既存施設の活用を検討することとしており、引き続き次期総合計画に位置づけた上で検討していきたい。

質 新たな道の駅ふたついに移設する二ツ井町歴史資料館の埋もれ木は、移設後どのように展示されるのか。

答 歴史民俗資料コーナーの床下に展示し、その上を強化ガラスで覆う予定である。

質 地域密着型特別養護老人ホームの施設整備に対する補助金について、補助額は工事費などをもとに算出するのか。

答 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金は施設整備に対する補助金で1床あたり427万円、介護施設開設準備経費等支援事業費補助金は備品購入などへの補助金で定員1人当たり62万1000円の補助単価で算出する。

質 体育施設作業員の詰所の移設工事について。

答 旧市民体育館の廃止に伴い、館内の作業所及び隣接する作業員詰所を、落合テニスコートの管理棟に移設する。テニスコートの利用に支障はない。



文教民生委員会の様子

(落合康友)